

【参考】各実施団体の当番負担軽減のための工夫例やご意見

<p>当番時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「分別の流れができたなら解散」としている。 ・「目分量票をもらうまで待つ」ということをしていない。 ・当日午前7時に当番2名で対応し、午前7時30分頃までにほとんど分別が終了するため、当番がいなくても対応可能と判断し午前8時には解散している。 ・2, 3人で対応し、資源の持込みと分別作業がひと段落したら1名のみ残り、他の当番は解散している。残る1名は毎回変更し負担がかかりすぎないようにしている。 ・午前7時から午前9時まで30分単位で交代し分別指導を行っている。 ・資源の持ち込みがひと段落したところで責任者のみ残り、他の当番は解散している。 ・午前7時から午前7時30分の間のみの当番へと変更した。 ・資源の分別が終了したところで、用事がある人は解散している。 ・午前8時から午前9時までには解散している。 ・午前7時30分から午前8時30分の間3人で行っている。2年に1度しか当番にならないように割り振りしている。
<p>目分量票の受け取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な数字は仕切書でわかるので、目分量票はもらっていない。
<p>いただいたご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会のやり方は、人数・時間ともに自由に工夫していいものと理解している。 ・ずいぶん前は回収に来るまで見張りをしていたが、現在は必要ないと判断している。 ・実際の運用は、各町内会の実情に合わせれば良い。